

ファッションショーの一幕



平和通りは平日から買い物客や観光客で賑わっています。

2月のある晩、平和通りのアーケードにスポットライトの灯りが交差した。軽やかな音楽に合わせ、専門学校生による華やかなファッションショーが開催された。夜の9時を過ぎているのに、通りにはおよそ百名ほどの若者たちの熱気が渦巻く。戦後のまちの歴史や、この通りをつくってきた人々の感動を、服(作品)に込めて、平和通りはステージ化した。

平和通りが結成されたのは昭和23年。戦後復興の第一歩として、人々の入域が許されたため、人々が集まり賑わうことができた。商業で賑やかな「まちづくり」が形成されていった。当時の平和通りは、道幅も狭く、電気がなかった。道路の改修や電気をつなぐため、通りで結束し費用を出し合おうと、会が結成された。那覇市平和通り商店街振興組合 理事長 高橋 隆夫

粋・活き
那覇City

まちはステージ・時代にこえてへ 平和の想いがもった平和通り

覇で一番最初に出来た通り会である。当初、この通りは「市場通り」として親しまれていたが、商店街にふさわしい名称にしたいと昭和28年に公募を行い「平和通り」と名づけられた。平和世に寄せられた市民の想いがこもった名称のこの通りは、以来那覇の庶民のまちの中心として発展してきた。

平和通りを訪れると、なんでも揃っている。まるで百貨店のような通りであった時代から、現在は観光客に喜ばれるショッピング街へと変わってきている。

庶民の街平和通りとして、今後とも時代にこえて、変化しながら通り会の振興、活性化へ力を入れていく。



多くの励ましを受け成果発表 市保健センターリハビリ発表会

脳卒中後遺症による在宅療養者の機能回復を図り、日常生活の自立を助けることを目的としたリハビリ教室の成果発表会が2月24日、市保健センターで開催されました。

発表会では、教室利用者が、家族や教室の仲間たちの励ましの声や手拍子の中、後遺症を感じさせないほど元気、つばに歌や踊り、体操を披露。会場は、笑い、歓声、後遺症から回復した本人や家族のみならず、関係者の喜びに包まれました。



女の子の健やかな成長を祈り 宇栄原幼稚園のひな祭り

三月三日はひな人形を飾り、女の子がやさしく、美しく、健やかに成長するように祈る「ひな祭り」の日です。市立宇栄原幼稚園でも、ひな祭りを祝いお茶会が開かれました。キレイなひな人形が飾られた園内で、園児たちが全員でひな祭りの歌を合唱した後、いつもよりちよつぱりおめかしした女の子に、男の子がお茶とお菓子を振舞いました。女の子たちは「ありがとうございます」とお礼を言い、少し苦いお茶を味わいながら、笑顔を見せ、祭りを楽しんでいました。



手作りでオンリーワンの一品を にぎわい広場チャレンジ手作り市

牧志第二公設市場跡地のにぎわい広場では、3月5日から毎週日曜日の午後1時から5時の間、チャレンジ手作り市を開催しています。

これは、にぎわい広場内にあるチャレンジショップ出店者が、参加者から材料費の実費をいただいて、オリジナル作品を手作り体験してもらうものです。

会場では、手作りシーサーやビーズアクセサリー、沖縄の植物の草木染つくりなどが手頃な価格で体験できます。



科学のすばらしさを学ぼう 小・中学生の科学教室開催

3月4日那覇市IT創造館では、科学のすばらしさを伝えようと、小・中学生の科学教室「不思議がいっぱい科学の世界」が電子情報通信学会の主催で開催されました。デジタルの世界や電子情報通信技術の歴史、携帯電話のしくみなどをテーマに行われた講義では、参加者のみなさんは、興味深く真剣な眼差しで講師の説明に聞き入っていました。また、講義の後には体験教室も行われ、コンピュータを使ったコンピュータ作りやホームページの作成に挑戦しました。

今回のカラーは緑です。緑色は風水では健康を意味する色と言われる色です。もっているだけでウレシイ♡
読めばあなたへ豪華プレゼントが当たるチャンスも★

手に取り 読めば健康運UPの予感 無料情報誌「なまからDo〜」

いま巷で話題の単色カラー情報誌。タイトルも「なまからどう」と変わったネーミングの「中・高年応援マガジン」です。「なまからどう」とは「マダマダこれから！頑張るぞ！」という内容で「人・食・健康」を中心に、中高年の皆さんの役に立つ情報がぎゅぎゅ詰まっています。今回で4号目ですが、読者の皆様よりありがたい声が届いております。その一部をご紹介します。

本を読まない父が(うるま市N・Tさん 専業主婦) こんにちわ！ なまからどうは、名義村クリニックでいただき、初めて読みました。私の父の付き添いで行き、父が何やら熱心に読んでいたのでも興味を示し、読んでみました。あまり本や雑誌を読まない父が珍しく読んでいたので、不思議でした。でも読んでみて納得！文字のサイズが大きくてとても読みやすいです。年配の方への配慮がとても良くできているな！と感心しました。又、父は特に趣味がなく、いつも家で過ごしているのに、なまからどうを読んで色んな情報を得て、心に変化が起きれば、娘の私としてはとても幸いです。

なまからどうは給油所やブックボックス・放送大学などに置いてあります。限定3万部 毎月発行しておりますのでお早めに！
フリーペーパーの問い合わせ。広告についてのお問合せ。
株式会社 日本広告
「なまからどう」編集部 ☎879-7977

チャレンジ手作り市開催！毎週日曜日13時～にぎわい広場で。体験教室あり・材料費実費 ☎868-7855 なはの街活性化室